

## 会議録

会議の名称	第3回東和地域学校再編準備委員会	
開催日時	令和2年 1月20日(月) 午後 7時 00分 開会 午後 8時 50分 閉会	
開催場所	東和総合支所 3階委員会室	
委員出席者	鈴木 和美 委員長	東和中学校PTA会長
	熊谷 久夫 副委員長	東和中学校学校運営協議会会長
	小口 信行 委員	米谷小学校PTA会長
	村田 裕仁 委員	錦織小学校PTA会長
	菅原 かおり 委員	米川小学校PTA会長
	舟嶋 茂昭 委員	米谷小学校学校運営協議会会長
	森本 欣八郎 委員	錦織小学校学校運営協議会会長
	菅原 輝雄 委員	米川小学校学校運営協議会副会長
	秋葉 茂雄 委員	米谷地域づくり推進協議会会長
	岩渕 俊文 委員	錦織地域振興会会長
	佐藤 裕孝 委員	米川地域振興会会長
	伊藤 真由美 委員	米谷こども園保護者会会長
	猪股 英明 委員	錦織保育園父母の会副会長
	佐藤 貴弘 委員	米川聖マリア保育園父母の会会長
事務局出席者	小林 和仁	学校再編推進室長
	岩渕 裕喜	学校再編推進室学校再編推進係長
	菅野 雅	学校再編推進室主事
	佐藤 鷹彦	学校再編推進室主事
傍聴者	1名	
議事	(1) 学校再編に関するアンケート調査の結果について (2) アンケート結果を踏まえた今後の方向性について (3) 統合校の位置について	
挨拶	事務局	開会 午後7時00分
	委員長	開会挨拶
	事務局	(前回会議及び今回会議の議事の内容について確認)
	委員長	議事1「学校再編に関するアンケート調査結果について」を議題とする。 事務局に説明を求める。
	事務局	(資料にもとづきアンケート結果について説明)
	委員長	事務局の説明や資料の内容に対して何か質問はあるか。 (無いとの声あり)
	委員長	無い様なので、議事2「アンケート結果を踏まえた今後の方向性について」を議題とする。今後の方向性について、委員の皆さんから意見をいただきたい。

	事務局	議題の内容について、補足説明をさせていただく。まず、再編準備委員会を進めるにあたって、統合を前提に進めてよいか、皆様に判断していただきたいと考えている。今回のアンケート調査結果などを参考に検討をしていただければと思う。
	委員	統合の賛否について、「賛成」、「反対」、「分からぬ」という方がそれぞれいるが、不安に思っているというところが共通している様に感じられた。また、意見の中に「東和に来る先生はリハビリのために来ている。」といった意見があったが、よい方に解釈すれば東和地域の子供達、保護者達はそういった先生でも受け入れができる雰囲気を持っているということなのかなと思う。いずれにせよ、不安が先に立っているということであれば、その不安を払拭していかなければならぬ。
	委員	仕方がないという感じなのかもしれないが、全体としては統合に賛成の方が多いと受け取った。あとは、具体的にどうしていくかが問題だと思うので、統合を前提に検討していくという方針で構わないと考える。
	委員	地区の総会で、放課後児童クラブからの収入でふれあいセンターを運営しているが、統合により放課後児童クラブが無くなったらどのように運営していくのかという話になった。
	事務局	放課後児童クラブの設置については、まだそこまで話が進んでいないので、どの様な形態で実施されるかはお答えしかねる。今いただいた意見については担当課に伝える。
	委員	統合の賛否を見ると、「分からぬ」を選択した方が多く、不安に感じている方が多いのかなと思う。より具体的に話をつめて、説明をしていけば、どちらかはっきりしてくるのではないかと思う。
	委員	個人の意見としては、統合について実感がなく、不安な部分が大きい。地元の小学校に子供を通わせたいという思いがある一方で、1学年に数人しかいないという規模もどうなのかなという思いもあり、判断しかねるところである。
	委員	結果を見ると、「賛成」か「分からぬ」が多い状況である。先ほども出ていたが「賛成」、「反対」どちらの方も不安なのではないかという点については私も同意見である。位置については中心地という意見が出ていたが、それが無難であると思う。どこの位置になるにしても、通学時の安全確保には配慮していただきたい。
	委員	賛成の方が思っていたよりも多かったのが驚きであるが、一方で「分からぬ」を選択した方も多い。この方々については先に話が出ていたとおり、不安があるということだと思う。不安を払拭するために教育委員会からも積極的に情報発信をしていただきたい。位置として米谷小学校が多かったが既存小学校の中では敷地面積も一番広いため選ばれたのかなと思う。ただ、米川地区から通学するとなると遠くなってしまうという部分はある。

	委員	賛否については「賛成」が多かったものの、「反対」と「分からない」を選択した方も一定数いるというのがポイントだと思う。設問3の配慮してほしい事項については、裏を返せば不安に思っている部分だと思うので、そういう部分のケアが必要だと思う。例えばスクールバスの基準が1時間となっているが、それをもっと短縮できないのかなどといった部分も考えていかなければならぬと思う。また、統合のメリットを示すために他市町村の成功事例を出すといったことも検討してほしい。また、東和地域については、人数が少ないものの、何とかなっているという部分もある。今後、複式学級になっていくということだったが、あまりイメージできていない部分もあるので、情報を提供してほしい。
	委員	団体ごとの集計をみると米川小学校については「反対」と「分からない」という意見が多い状況になっている。現状がよいと思っている方が多いということだと思う。一方で、人数がより減った時にこのままで大丈夫なのかという思いもあるので、判断しかねる部分もある。また、地域独自の授業や行事を魅力として感じている方が多いことが分かった。位置についてはやはり遠くなる方がいるので、中心地に建てていただくのが一番よいのかなと思う。最後になるが、コミュニティスクールとして地域と連携しているのに、統合というのは整合性がとれないのではないかと思う。先ほど話したとおり現状に魅力を感じている方がいるので、もう少しこのまま統合せずにいられないのかと思う。
	委員	私も、「賛成」、「反対」にしても不安に思っているのではないかと思う。選択するにしても情報が少ないのではないか。また、登米市内でも40人編制で2学級以上の規模を確保できている学校は1校程度しかないと思うのだが、なぜ統合という考えができたのか分からぬ。東和地域の小学校については、教師と児童がほのぼのとした関係の中でやってきている。コミュニティスクールも含めて、なぜ、そういった部分にメスを入れなければならないのか。登米市として小規模校で学校を維持していくという考えがあつてもいいのではないか。アンケートの自由意見の中に小規模特認校に触れたものがあったが、そういった考えが登米市に合ったやり方なのではないか。統合してよかったですという話はあまり聞かない。統合により嫌な思いをするのは、児童、保護者、教員である。子供達は何とかやっていけるが、大人は難しい。
	委員	国、県、市の財政的に小規模校を一定規模にして効率的に運営したいということなのか。個人としては再編すべきなのかどうか判断しかねる。国の指導や市の指導として必ずやらなければならないということであれば財政の問題もあるので、分からぬでもない。判断するとなると、例えばアンケート調査で反対多数となった場合、話を中断してよいのかなど問題が出てくるし、結論を出すことができるのかどうか不安である。東和地域に関しては嵯峨立小学校、鰐淵小学校の統合を経験しており、再度保護者に負担をかける様な形になるので慎重に進めたい。
	委員	文部科学省が示した、適正な学級規模の考え方を市が参考とし、この委員会が立ち上げられたと認識している。鰐淵小学校の統合の際に思ったことを話すと進め方が乱暴すぎる。通学支援や放課後児童クラブなどについて

	て具体案を示してから、会議を進めるべきではないか。統合することによるメリットがあることは理解しているが、現在それぞれの地域に合った形で活動をしている。統合するとそれが無くなってしまうのではないか。その辺りも考えていただきたい。単なる児童の数字合わせの統廃合では納得できないと思う。
委員	アンケートには貴重な意見がたくさんあった様に思う。この再編準備委員会の性格について確認した時に、最終的には統合する方向で検討を進めるものだという事で共通に認識されていると思う。そうすると我々がすべきことは、このアンケートに書かれた意見から不安に思っていることを抜き出して、それに対しての考え方や不安の解消方法を検討、提示していくことではないか。また、各小学校で育ってきた地域の文化など捨ててはならないものがあると思う。そういうものをどう活かしていくか考えていくべきではないか。不安の解消方法を検討するといった再編準備委員会の設置趣旨からすると、反対が多いから統合しないという判断をするものではないと考える。
委員	アンケート調査結果から不安に思っている部分を読み取り、どのようにすれば、統合に向けた一番よい方法になるのか検討した方がよいと思う。
委員	地域座談会に参加した際に、「学校が無くなったら地域が衰退する。」という質問に対して「そうならない様に検討していく。」というやりとりがあった。今の教育委員会は統合が決まつたら次の段階で検討しましょうという様なスタンスに感じる。不安を払拭するには、例えば、登米市独自で学級編制の弾力化を行うなどの具体案を示していただく必要があるのではないか。また、東和地域には神楽が3つあるが、3校一緒になった時に、それぞれの地域の文化の伝承や活動をどの様に継続していくか提示していただきたい。
委員	統合になる3つの学校の良さをどの様に継続するかというのは、学校が解決すべき課題であって教育委員会が解決すべき課題ではないのではないか。地域文化の伝承や活動については、学校が児童、保護者、地域、先生の間で作り上げていくものであって、上から押し付けられてやるものではない。学校が持っている最小の機能は子供達に相応しい教育環境を整えるということであり、それに加えて学校文化を作り人間性を豊かにするという部分については学校で取り組まなければならないのではないか。それは教育委員会から教えてもらうことではないと思う。入れ物は教育委員会がしっかり作る、文化は学校が育むという区別が必要ではないか。
委員	学校と地域で共に作り上げていくものという点は理解している。そうであれば、「この部分は、学校と地域が共に作り上げていく部分です。」といったように、具体的な考え方の説明がほしい。何でもトップダウンで教育委員会にやって欲しいということではない。
委員	アンケート調査については回答率が高く、皆さん関心が高いということを改めて認識した。ただ、不透明な部分が多く皆さん分からぬといふ状況なのかなと思っている。幼稚園の統廃合や認定こども園化でも説明のタ

	委員	イミングが遅いといった声が聞こえたので、説明会やそういったものは多いと言われるくらいあってもよいのではないかと思う。
	委員	中学校の再編については当初から意見を聞いてみるというスタンスで設問に入れたものであった。通学距離や大きな学校と一緒になる可能性があることについて生徒、保護者自身が対応できるのか不安に思っているということが見えてきたのでよかったと思う。中学校の再編についてはその部分を確認したということに留めたい。小学校の再編については再編準備委員会が立ち上がっている以上、不安に思っている部分について、どうすれば解決できるのかを検討していくべきではないか。また、その不安を払拭するための広報活動といつても、全員が見るというのは難しいと思う。中間報告として進捗状況やアンケート結果について各学校に行って伝えるだけでも違うのではないか。また、コミュニティスクールについても小中学校で地域に密着し活動を行っている。地域の特性を活かした統合を行ってほしいという意見が根強いので、その部分も説明していただければと思う。
	委員	統合する方向で検討を行うということでよいと思う。具体案が見えないため、不安を感じていると思うので、統合した場合この部分はこうなるというものを示してほしい。
	委員	何が不安かという部分については実際にアンケートに記載していただいている。アンケート調査の記載内容についてよく読めば、どういった内容の検討が必要かも見えてくる。
	委員	先行している地域、例えば米山地域はどこまで進んでいるのか。
	事務局	米山地域については次回が5回目の会議になる。米山地域でも最初にアンケート調査を行った。アンケート調査の結果、概ね賛成の意見が多くたが、反対の方も一定数いた。アンケート調査により概ね賛成であることと、反対の方が不安に思っていることも記載内容から見えてきたということで、米山地域学校再編準備委員会としては統合を前提に不安を解消できるよう、よりよい学校再編について検討していくという結論を第3回の会議でいただいた。現在は活用校舎の選定について話し合っているところである。
	委員	教育委員会では通学支援などについて具体的な回答ができるようになっているということか。
	事務局	再編準備委員会の役割としては、まず統合する方向で進めてよいか確認していただき、その後に校舎、通学支援という順番で大きくこの3点について検討していただこうと考えていた。また、不安の解消という点では、例えば、統合校でどういった学校活動をしていくという部分については（仮称）再編開校準備委員会の役割になってくる。その点については第1回会議で確認してから変更はない。
	委員	会議はもう2回くらいしか機会が無いと思うが。

	事務局	回数はあくまで目安なので、6回しか会議を行わないということではない。途中で話し合いを打ち切るということはない。
	委員	決まらなければ、延々と会議を行うのか。
	事務局	際限なく会議を行うということではないが、会議回数が増えれば増えるほど統合の時期は遅くなる。
	委員	我々が質問して具体的に回答いただければよいが、それが無い中で会議を続けるのはいかがなものか。例えばスクールバスはこの様に運行する、放課後児童クラブはこうするなど、具体案が必要である。
	事務局	回答できる部分については回答していきたい。また、課題の解決方法や要望についても再編準備委員会で応えられる部分、教育委員会で応えられる部分、あと先ほど出た学校や保護者、地域が一緒になって取り組んでいく部分など整理していかなければならない。
	委員	そもそも校舎の位置が決まらないと、スクールバスの運行などについても決めかねるのではないか。
	事務局	大元となる校舎の位置について検討していただいたうえで、位置を絞り込んだ後に通学支援などについて話し合っていただく予定でいた。
	委員	例えばこの小学校に決まった場合はバスが何台必要だ、中学校校舎を活用する場合にはバスが何台必要だといったシミュレーションはできないのか。
	事務局	シミュレーション自体は可能だと思う。
	委員	分からぬことが多い状況では何度も会議があっても、同じ話になると思う。先に場所を決めるとは言うものの、それぞれのパターンについて具体案を提示してもらった方が、話が進むと思う。
	事務局	整理させていただくと、まずは通学支援について不安に思っている方が多いので、その部分について具体案を提示すればよろしいか。具体的にこういった情報が欲しいというものがあれば、要望をいただきたい。
	委員	統合するとなれば、校歌をどうするかなど第二段階、第三段階の会議が必要になってくると思う。具体的な部分については次の段階でもよいのではないか。
	委員	具体案がないと判断できないと思う。
	委員	統合後のこういった学校で活動をしたいとか、校歌をどうするとかそういう部分については大きなところが決まってこないと意見が出てこないと思う。もっと言えば統合後にやはりここはこうしたいとかそう言った部分が出てくることもあるのではないか。

	委員	現段階で再編準備委員会としてできることは、アンケート結果をもとに不安に感じている部分を把握し、その内容について検討することだと思う。例えば統合校の位置であれば、こういう不安を感じている方がこの位いるので、位置としてはここ的位置がよいのではないかという検討方法で話し合っていくしかないのではないか。
	委員	全てこのアンケート結果に従うのか。
	事務局	検討を行ううえで参考にするという位置づけでアンケート調査を行っている。全て従わなければならないかと言えばそうではない。
	委員	しかしながら、検討するうえで重要な材料ではあると思う。
	委員	統合校の位置に関するということであれば、中学校と記載した方が思ったより少なかった。小中一貫校は難しいと思うが、小中併設校は選択肢としてはありだと思う。
	委員	小学校3校とは違い、選択肢として設けないという結論になった。選択肢としてあれば数は違ってくると思う。
	委員	よりよい教育環境を提供して、その中で子供達を生活させたいという思いは一致していると思うし、本委員会の1つの目標だと考える。それに向けて議論するための材料が無いというのが問題ではないか。どこでもよいので統廃合するという方はいないと思う。
	委員	具体的にどういった情報がほしいのか確認したい。
	委員	この校舎になった場合に児童をこういうルートでバス通学させるとか、早く授業が終わる学年はすぐ帰すのか、どこかで預かるのかとかそういうシミュレーションが欲しいと思う。よりよい方法を検討した上で、統合という形にならなければならないと思う。
	委員	よりよい方法を検討した上で、統合に向かうという部分はそのとおりだと思うが、先程話があったとおり、大枠の部分から検討していくて、段々と細部をつめていく形がよいと思う。全てのパターンで詳細にシミュレーションするとなると、膨大な情報量になってしまいのではないか。現段階では、具体的な時間などを要望としてあげておいて、議論が進んだ時にその内容について検討、調整を行うという話であれば分かるが。
	委員	一度、統合を経験している地区からすると最初から具体的なものを提示してほしいと思う。
	事務局	教育委員会としては各回議事のテーマを設け、そのテーマにもとづいて、まずは統合の実施、次に統合校舎の位置といった様に大きい部分から検討していただき、位置が決定した後に通学支援やそういった細部について決定していただく流れで考えていました。ただ、検討するにあたって事前にシミュレーションしたもののが欲しいということであれば、対応について検

	討する。まずは、東和地域再編準備委員会での検討方法についてご意見をいただきたい。また、具体的な部分を示すにしても他部署との調整が必要となりすぐにはお答えできないことや、検討した結果ある部分について決定した後でなければお答えできない部分が出てくることはご理解いただきたい。
委員	大枠を決めてから細部について検討するという方法もあるのかもしれないが、不安に思っている方が多いので、具体案を示しつつ不安を解消していくかないと、統合に向かえないのではないかと思う。アンケート調査結果から、通学支援などについては具体的に不安な部分として読み取れている。それに対してどの様な対策を取れるかなど具体案を提示していただくのはよいと思う。
委員長	議事の流れを見ると本日位置を決定するのは難しいと思う。統合に向けて検討を行うという部分については先ほど確認したので、位置を決定するにあたって次回会議でスクールバスに関してできる限り具体的な考え方を提示していただきたい。また、それを見たうえで次回会議にて位置を検討したいと思うが、委員の皆さんはいかがか。
委員	昔であれば1～3年生はバス、それ以上は自転車というような取り扱いだったが、今は、対象者は学年問わずスクールバスという取り扱いだったと記憶している。
委員	最初の子が6時45分にバスに乗って7時半には着くのでそれまでには誰かがいなければ問題が出るとかそういった部分は出るかもしれない。教育委員会として大枠としてスクールバスは出すとかそういった部分は言えないのか。
事務局	1便目が何時に出るなど具体的な部分は本日申し上げられないが、統合により通学の負担が増える児童がいるので、通学支援について必要性は認識しているし、行わなければならないと考えている。
委員	我々としては、1時間以上は好ましくないなど要望をあげつつ、場所が決まった時に詳細についてつめていけばよいのではないかと思う。
委員	こういった部分はこうしますというのはどうするのか。
委員	今の段階ではそこまでいかないのではないか。
委員6	少人数であれば借り上げタクシーを活用できるとか具体的な部分は教育委員会で考えることだと思う。再編準備委員会に示していただくものとしては、1時間以内で通学できるようなルートは確保するなど大まかなものでよいと思う。
委員	何キロメートルまでは徒歩、何キロメートルからはバス通学などといった考え方や第1便が何時に出発して第2便は戻ってきて何時に出るとかそういった考え方は教育委員会に持っていていただきなければならぬ

	いと思う。
委員	シミュレーションを出してもらった方がよいのではないか。考え方という視点で意見するとなると、皆さんそれぞれ思いがあるので結論が出ないと思う。
事務局	通学支援という部分でシミュレーションしたものを持ち出すべきか。
委員	それがあれば、この校舎だとここがよいがここが課題だとかそういった議論の仕方ができると思う。
事務局	通学支援のシミュレーションや考え方の提示については担当部署との調整が必要となるので時間をいただくことになるが対応したい。その情報をもって次回以降統合校の位置について検討していただければと思う。
委員長	時間がほしいとのことだったが、どれくらい必要か。
事務局	3月中旬に次回会議を行う日程ではいかがか。担当課でも他の業務を行いながらの検討となるので、時間をいただきたい。
委員	3月中旬だと卒業式や受験などの行事に重なりそうな気がするが。
事務局	あくまで決定事項ではなく案として提示するということで、3月の2週目の開催ではいかが。
委員長	3月の2週目となると最短で3月9日となるがいかが。
事務局	3月中旬以降となると年度末になってしまふので、日程調整が難しいと思われる。よろしくお願ひしたい。
	(よろしい旨の声あり)
委員長	それでは次回会議日程は3月9日とする。
事務局	本日の会議の決定事項について確認したい。まず、今後の会議については統合を前提に検討していただくということよいか。
委員長	統合を前提に検討していくことで確認した。
委員	具体案の提示というのは、統合の実施を判断するための提示という解釈でなくてよいのか。
委員	統合に向けてよりよい場所、環境を提供するために検討していきたいと考えている。
事務局	議事3「統合校の位置」については本日の議事の内容、会議時間の都合から資料説明も含めて次回会議に繰り越しさせていただく。また、シミュ

	レーション内容について確認させていただきたいのだが、シミュレーションは小学校3校舎を活用した場合に加え中学校校舎を活用した場合の情報を提供すればよいか。
	(よろしい旨の声あり)
委員	シミュレーションでどの様な情報をいただけるのか。
事務局	例えば乗車時間帯、ルートといった情報ではいかがか。
委員	どこを通るかと停留所の大まかな位置もほしい。
事務局	ルートと停留所の位置は必須ということですか。
委員長	最終決定はもっと話が進んでからになるにせよ、そこまで踏み込んでシミュレーションしていただけたとありがたい。
事務局	持ち帰り、担当課と調整させていただく。
委員	一番揉めるのが停留所だと思うが、現段階で出すのか。統合後の学校で話し合った方がよいと思うが。
委員	各校舎を使った場合、一番遠い児童でどのくらいかかるのか知りたい。
事務局	最長距離という視点であれば位置の検討に使う相対評価表に記載している。
委員	距離ではなく時間という部分で知りたい。
事務局	承知した。それでは乗車時間帯、ルート、停留所の3点で整理するよう担当課と調整させていただく。また、提示する情報はシミュレーションということで、最終決定ではないことはご了承いただきたい。
委員長	以上で本日の会議を終了する。
	閉会 午後8時50分